

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
公共(①・②)	基礎	2	通年(半期認定)	必修科目
公共	基礎	2	半期完結	
対象	◎ 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	△ 卒業予定生向け(高3相当)	
	○ 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	○ 大学入試に対応	
受講条件	なし			
学習内容	現実社会の諸課題を見だし、解決に向けて選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的における基本的原理を基に、政治、法、経済、職業生活、国際社会の分野ごとに深く学習する。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識技能	ノート・小テストなど		40%
	思考判断表現	作業・発表など		30%
	主体的に学習に取り組む態度	提出物など		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
倫理①	標準	1	前期	選択科目
倫理②	標準	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	◎ 在校生向け(高2相当)	○ 卒業予定生向け(高3相当)	
	○ 教養・基礎学力養成	△ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	公共を修得していること。			
学習内容	人間の存在や価値に関わる基本的な課題について、心理学の考え方、古今東西の先哲の思想、宗教や芸術の意義、さまざまな人生観・倫理観・世界観や国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について、古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想を学習する。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識技能	ノート・小テストなど		40%
	思考判断表現	作業・発表など		30%
	主体的に学習に取り組む態度	提出物など		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
政治・経済①	標準	1	前期	選択科目
政治・経済②	標準	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	◎ 在校生向け(高2相当)	○ 卒業予定生向け(高3相当)	
	○ 教養・基礎学力養成	○ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	公共を修得していること。			
学習内容	現代日本の政治・国際政治・経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について学習する。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	ノート・小テストなど		40%
	思考 判断 表現	作業・発表など		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	提出物など		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
政治・経済①	応用	1	前期	選択科目
政治・経済②	応用	1	後期	
対象	× 新入生向け(高1相当)	× 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	○ 教養・基礎学力養成	○ 専門学校に対応	◎ 大学入試に対応	
受講条件	政治・経済(標準)を修得していること。			
学習内容	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論を活用し、現実社会に見られる複雑な課題を把握する力を身につける学習する。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	ノート・小テストなど		40%
	思考 判断 表現	作業・発表など		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	提出物など		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
教養公民①	標準	1	前期	選択科目
教養公民②	標準	1	後期	
対象	△ 新入生向け(高1相当)	◎ 在校生向け(高2相当)	○ 卒業予定生向け(高3相当)	
	◎ 教養・基礎学力養成	○ 専門学校に対応	× 大学入試に対応	
受講条件	なし			
学習内容	社会的事象等を、倫理、政治、法、経済、倫理、哲学、宗教、などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉えた学習する。			
評価	評価の観点	評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	ノート・小テストなど		40%
	思考 判断 表現	作業・発表など		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	提出物など		30%
備考	なし			

科目(講座)	グレード	単位数	開設形態	履修形態
教養公民①	発展	1	前期	選択科目
教養公民②	発展	1	後期	
対象	△ 新入生向け(高1相当)	○ 在校生向け(高2相当)	◎ 卒業予定生向け(高3相当)	
	◎ 教養・基礎学力養成	○ 専門学校に対応	× 大学入試に対応	
受講条件	教養公民(標準)を修得していることが望ましい。			
学習内容	「公民科」の学習における幸福、正義、公正、真理、善、美、正義、対立、協調、効率、公正など、多様にあることに留意することが必要であり、各科目の学習における追究の過程等、これらの視点を必要に応じて組み合わせた学習する。			
評価		評価のポイント		観点別評価の内訳
	知識 技能	ノート・小テストなど		40%
	思考 判断 表現	作業・発表など		30%
	主体的に 学習に取り 組む態度	提出物など		30%
備考	なし			